



オーストラリア直送レポート

Vol.5

2016.8.11 照りつける太陽！園内をバスで移動の動物園【DS】

オーストラリアの大自然に感激【PS】

●ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課：林
引率教諭：吉備中学校 西岡

●パーマストン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課：宮地
引率教諭：白馬中学校 熊ノ郷

【DS】校外研修2日目！研修生は、出発前に入念に紫外線対策をしていました。オーストラリアは、日本よりかなり紫外線が強いので、今日のように1日屋外での研修では帽子と日焼け止めは、必需品です。校舎からバスに移動する間に、研修生から「暑い」や「日差しが強い」との声が聞こえてきました。オーストラリアで過ごして5目ですが、今日は暑さと日差しの強さを改めて研修生も感じたようです。

さて、本日の研修の目的地は「Territory Wildlife Park」です。DS校のホストとバスで談笑しながら過ごしていたので、研修生はあまり感じていないようでしたが、約1時間の移動でした。入場ゲートを通じた時は、Wildlife Parkの規模の大きさは実感出来ませんでした。研修生達はその後、とてつもなく誇大な動物園ということを知ります。入場ゲート付近で数種類のヘビ、巨大なクロコダイルの頭蓋骨等のコーナーに研修生の好奇心、魂に火がついたのか目をキラキラさせながら見入っていました。園内のパンフレットを配布すると、研修生から「すごい広い」や「めちゃくちゃでかい」との声が聞こえてきました。園内移動用のバスが到着すると、研修生達は思い思いの場所に乗り込んで行きました。最初は、パラマンディーとステインガー（エイの仲間）が展示されているコーナーでした。ここで、エサやり体験や生態について説明を受けました。続いて鳥のショーを見に行きました。ガイドさんの解説が早口の英語だったこともあり、研修生はあまりピンときていない様子でしたが、研修生のすぐ近くを見たことのない様々な鳥たちが飛んでくる姿は、大迫力で大興奮しながら必死にカメラで撮影しようとしていました。ショーを見学した後は、研修生達は、DS校のホストとグループとなりランチタイムまで園内を自由見学しました。

昼食はDS校が用意してくれたサンドイッチやフルーツを頂きました。研修生（男子）は、少し足らなかったのか、それとも胃袋がオーストラリアサイズになってきているのか、売店でお菓子やハンバーガーを買っていました。昼食後、Wildlife Parkのスタッフはクロコ

ダイルについての説明やクロコダイルの赤ちゃんを抱かせてくれました。研修生達は、緊張しながら感触などを確認していました。帰りのバスでは、元気いっぱいの研修生も暑さや歩き回った疲労などで寝ている研修生もいました。2日続いた郊外研修も今日で無事に終了し、明日からはまたDS校で授業に参加します。明日で研修の1週目が、終了します。また、明日の夕方は研修生とホストファミリーが集合し海岸で夕食をとる予定になっているので、ホストファミリーの方に研修生の様子などを聞いてみたいと思います。(林)

今日も昨日に引き続き校外研修でした。Wildlife Park という壮大な大自然が広がる公園に行きました。公園とは名ばかりで、実際はその公園すべてが動物園のようになっており、日本ではほとんど見る事ができないたくさんの生き物が飼育されていました。研修生は4グループに分かれて行動し、ドリップストーン校の生徒が各グループに入り、案内してくれました。午前中は Daily Feature Presentation という鳥のショーや、夜行性の生物を集めた施設、クロコダイルやオーストラリアの熱帯魚が飼われた水族館、他にも様々な生物を見ることができる場所に案内してもらいました。昼食にはドリップストーン校が用意してくれたサンドイッチとジュースをいただきました。昼食を食べてひと休みをしていると、飼育員の方が何やら大きな箱のようなものを持ってきてくれました。いったい何が入っているのだろうかと思い箱の中を覗くと、なんとクロコダイルが入っていました。研修生、ドリップストーン校の生徒達も大興奮。希望者は実際にクロコダイルを持たせてもらえるということで、順番にクロコダイルを両手に抱えて写真を撮りました。みんな少し怖がりながらも、クロコダイルを持てたことに大喜びでした。そしてその後バスで帰校し、ホームステイのお家に帰りました。

今日の研修では、ドリップストーン校の生徒達と研修生がたくさん交流できました。同じグループで行動したというのがありますが、研修生が積極的に行動できたからこそ楽しい交流になったのだと思います。時間の関係上、すべてを見てまわれませんでした。ドリップストーン校の生徒達が上手に案内してくれたので、効率よくたくさんの生物を見ることができました。ドリップストーン校の生徒達、ありがとう！彼らのおかげで研修生は楽しい1日を過ごすことができました。

明日はまたドリップストーン校の授業を見学させていただきます。しっかり考えて、自分の考えをまずはつくってほしいと思います。吉備中生、Don't stop, stay hungry! (西岡)

【PS】今日はパーマストーンシニアカレッジに集合してジャンピングクロコダイルと、Windows on Wetlands への校外学習です。朝から飲み物やピクニックランチをクーラーボックスに入れ、スクールバスでアデレードリバーへ。車中での研修生達は、久々の自分達だけの空間にリラックスした様子で、窓の外の広大な景色の写真を何枚も撮ったり、大きな笑い声を上げて談笑したりと、14名のチームの仲の良さを見せてくれました。約1時間で湿原に到着し、しばらくの待ち時間の後、乗船。有田川のような澄み切った流れのある川ではなく、濁っていて流れの無い大きな川でした。しばらく上流へ向かうとクロコダイルが

悠々と泳ぎながら船に近づき、それを見つけた研修生達からはどよめきが起こりました。その後、係員が生肉をエサにコロコダイルをおびき寄せ、水面から飛び出すようなしぐさが見れる度に歓声を上げシャッターを押していました。研修生達の写真を楽しみにしてあげてください。その後、近くの Windows on Wetlands へ。ここは、広大な土地を見下ろす高台にある展望台の様なところでした。小さな博物館のようなものもあり、研修生達はオーストラリアの自然について確認しました。爽やかな風を感じながら外で食べたピクニックランチは格別だったと思います。また、地平線をみながらみんなどういった感情をもったのでしょうか。明日のこのころの風景が楽しみです。帰りのバスでは半数以上の研修生が眠っていました。きつい日差しの中での活動は疲れたことと思いますが、今日はいいリフレッシュになったと思います。明日はローズベリーミドルスクールで授業に参加させていただきます今まで以上に同世代との交流を積極的に行ってくれることを期待します。(宮地)

「何もないなあ。」今日訪れた Windows on the wetlands で、一人の男の子が、360 度に広がる大湿原を見つめながら、つぶやきました。目に見える人工物はほんの少ししかない所が、ノーザンテリトリー準州のほとんどです。今日のジャンピングコロコダイルも日本の多くのアトラクションとは違い、いつも同じワニが現れて、同じようにジャンプすることはありません。大きなワニが現れることもあれば、ほとんど見れないこともあります。また、自分が座っている船内の席により、見れることもあれば見れないこともあります。でも、それが自然であり、今日は、日本ではなかなか体験できないそんな手つかずの自然を子供達が感じられる時間だったと思います。今日のランチは、学校が作ってくれたサンドイッチでした。一人の女の子が、「マヨネーズがだめだから、食べられない。。。。」というので、「一度食べてごらん。オーストラリアのマヨネーズはちょっと違うかもしれないよ」と私が言うと、だいぶ迷った後に、「じゃあ、ちょっとだけ食べてみようかな」と一口食べました。すると、「なんかちょっと違うみたい」と言うので、他の子供達と一緒に「全然違うよーきっとマヨネーズじゃないよー」と言うと、「マヨネーズじゃない、マヨネーズじゃない」と言いながら、しっかり食べていました。日本だとなかなかいつもの自分の殻を破れないことも多いですが、外国だからこそできることもあります。いろんな経験をたくさんして、大きく成長してもらいたいと思います。(熊ノ郷)

(写真を次ページに掲載しています。)

